

[トップページ](#) > [感染症を探す](#) > [疾患名から探す](#) > [タ行](#) > 手足口病

手足口病

[ポスト](#) [シェアする](#) [LINEで送る](#)

更新日 (last updated) : 2025年7月24日

概要

手足口病はコクサッキーウイルスA16（CA16）、A6（CA6）、A10（CA10）、エンテロウイルス71（EV71）などを病原体とする感染症である。主な感染経路は飛沫感染、糞口感染、接触感染である。口腔粘膜や手足に水疱性の発疹を呈し、まれに髄膜炎や脳炎などの重篤な症状を伴い、死亡することがある。

病原体

コクサッキーウイルスA16（CA16）、A6（CA6）、A10（CA10）、エンテロウイルス71（EV71）は、いずれもピコルナウイルス科エンテロウイルス属に属する1本鎖RNAウイルスである。

疫学

世界中で報告がある。日本国内では、乳幼児を中心に夏季に流行し、特に2歳以下の報告が多い。

感染経路

主な感染経路は、飛沫感染、糞口感染、接触感染である。

臨床像

潜伏期間は3から5日程度。口腔粘膜、手掌、足底に水疱性の発疹が出現し、まれに髄膜炎や脳炎などの重篤な症状を呈し死亡することがある。

病原体診断

水疱内容物、咽頭拭い液、便、直腸拭い液などからのウイルスの分離・同定、ウイルス遺伝子検出、血清学的検査による。

治療

特異的な治療法はなく、対症療法が中心である。



国内で承認されたワクチンはない。

法的取り扱い

感染症法における、五類感染症の定点把握対象疾患に定められている。

学校保健安全法において、条件によっては第三種感染症の「その他の感染症」に定められている。



キーワードを入力してください

検索

☐ 感染症について ☐ サーベイランス ☐ マニュアル類・関連情報 ☐ アーカイブ

関連情報

- [手足口病（詳細版）](#)

IDWR関連記事

- [IDWR 2026年第26号＜注目すべき感染症＞ 手足口病・ヘルパンギーナ](#)
- [IDWR 2025年第30号＜注目すべき感染症＞ 手足口病・ヘルパンギーナ](#)
- [IDWR 2024年第27号＜注目すべき感染症＞ 手足口病](#)

記事を表示する

IASR関連記事

- [IASR夏の疾患\(ヘルパンギーナ/手足口病\)](#)
- [手足口病症例から検出されたEnterovirus D68—沖縄県](#)

PDF・Word・Excelなどのファイルを閲覧するには、ソフトウェアが必要な場合があります。
詳細は「ファイルの閲覧方法」を確認してください。



ファイルの閲覧方法